

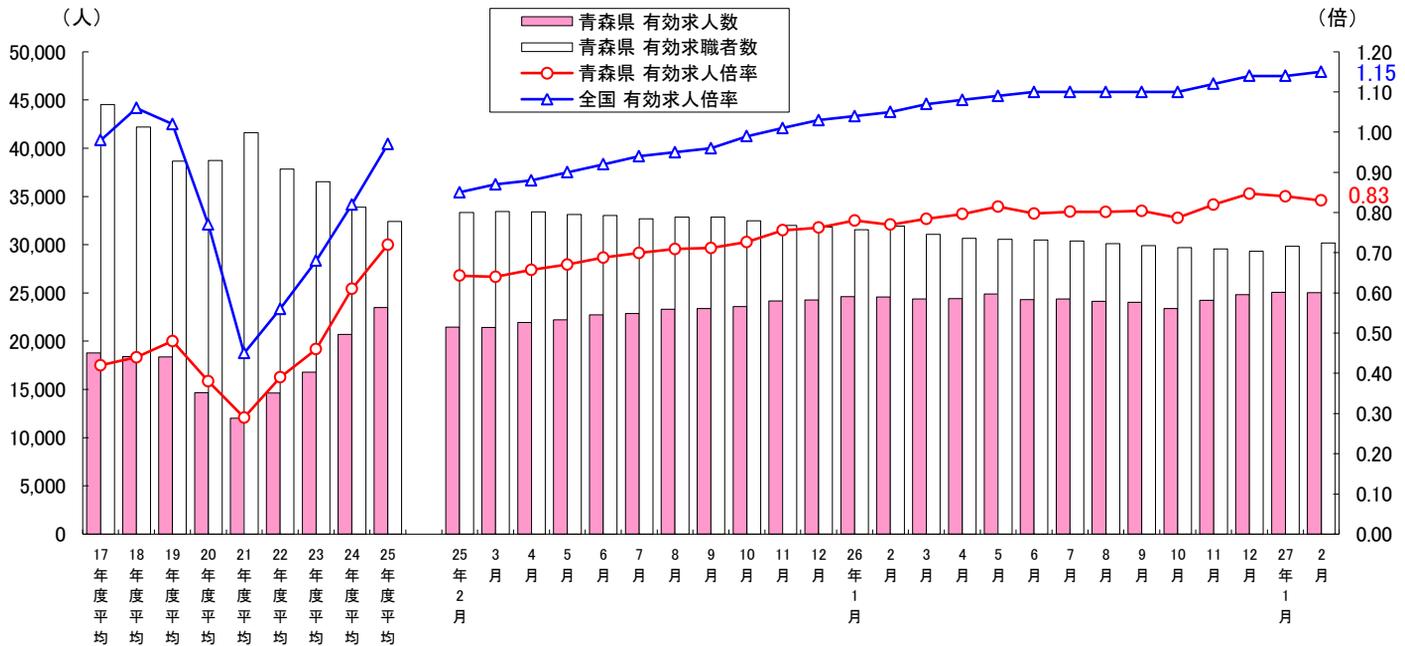
# 最近の雇用情勢について

(平成27年2月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.1%減少の25,045人、有効求職者数(同)は1.1%増加の30,177人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント低下の0.83倍となった。

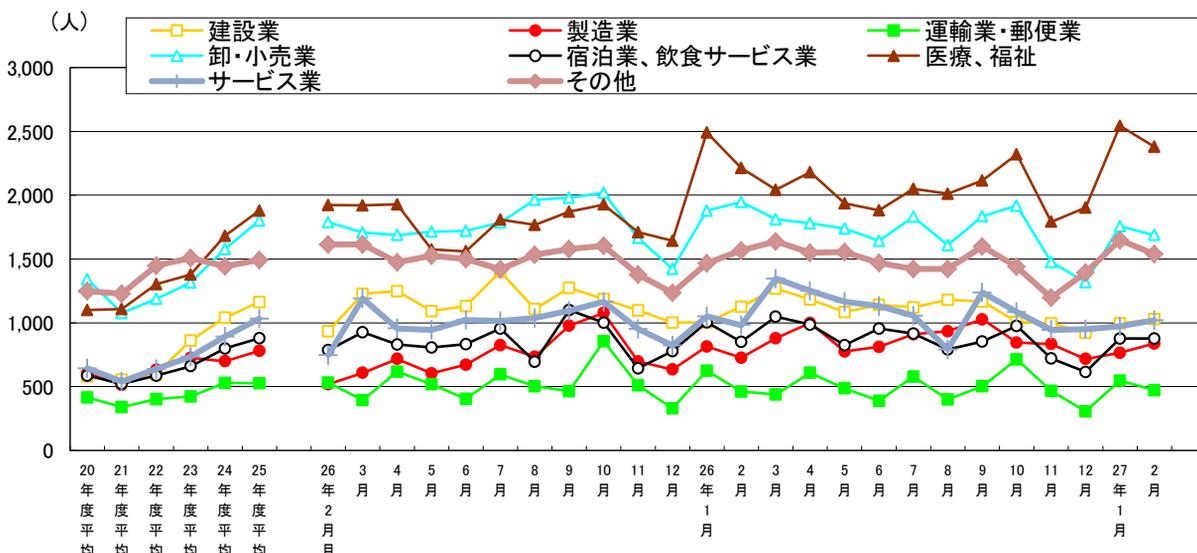


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人(原数値)は前年同月比0.3%(29人)減少、前月比2.6%(264人)減少の9,844人。

産業別に前年同月と比較すると、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、建設業、卸売業、小売業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等が増加し、窯業・土石製品製造業、金属製品製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



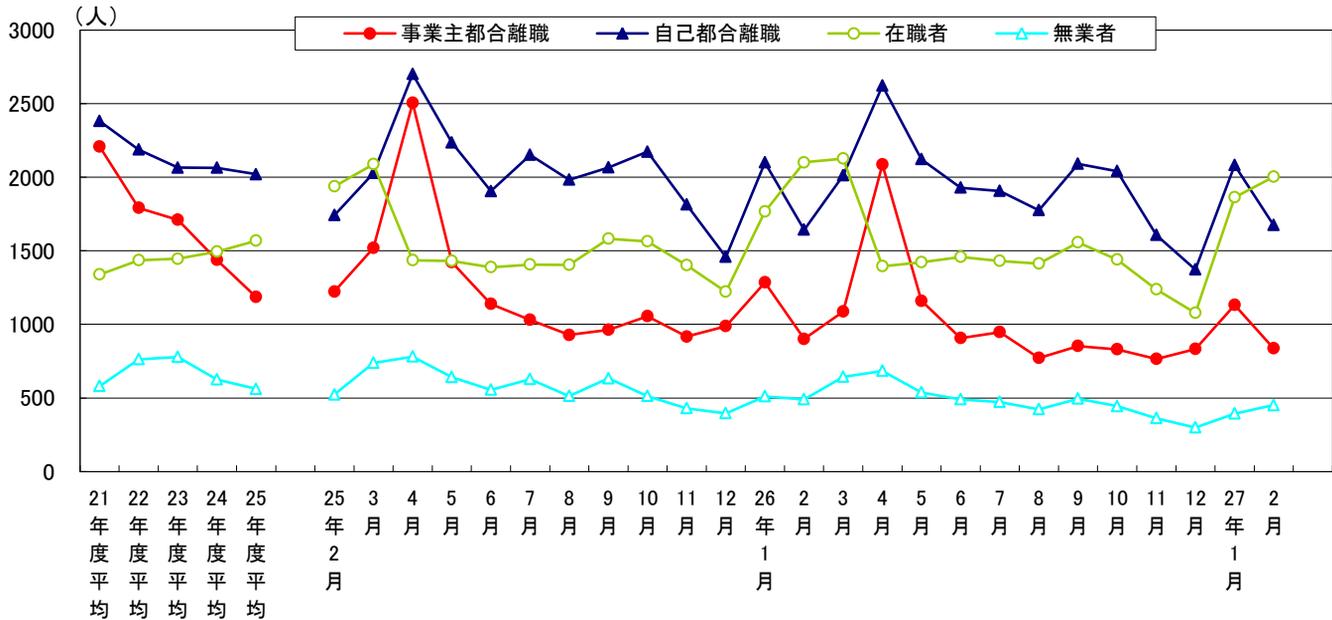
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数は、前年同月比3.5% (182人)減少、前月比9.6% (538人)減少の5,057人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は4.7% (98人)減少し、離職者は1.7% (45人)の減少、無業者も8.0% (39人)の減少となった。

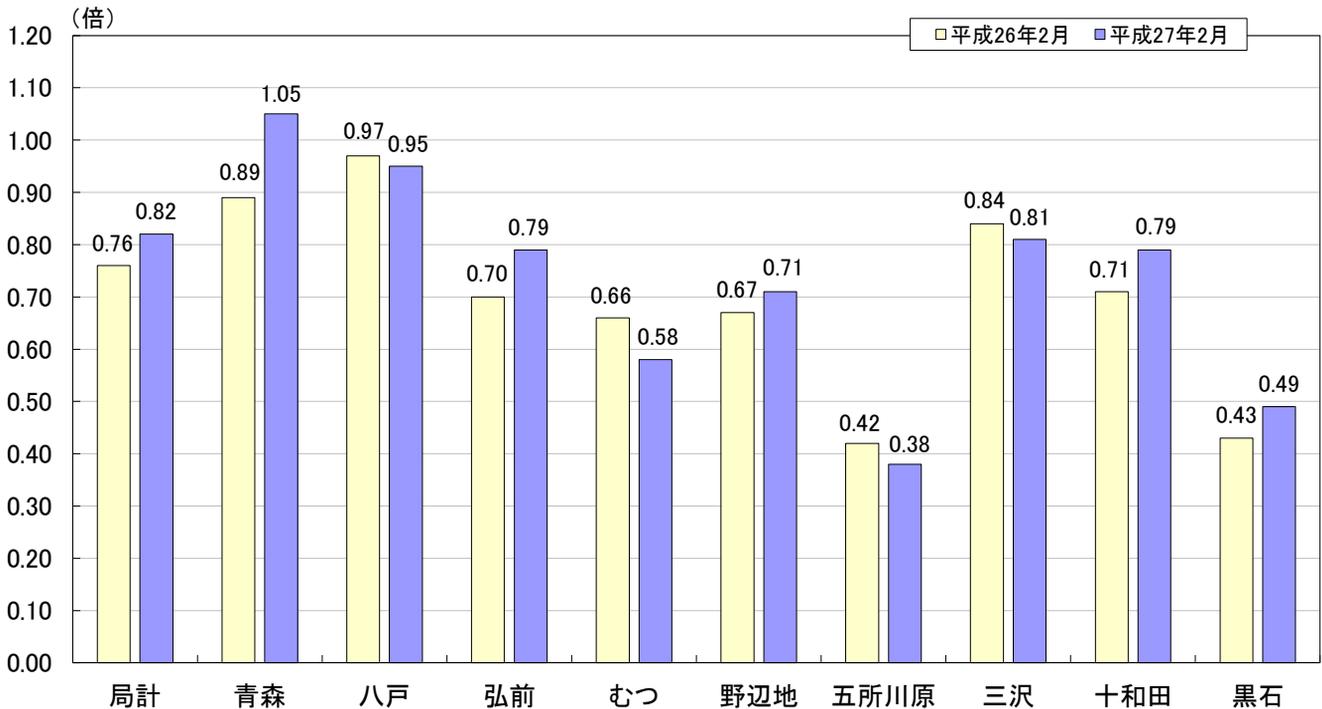
離職理由でみると、事業主都合は7.2% (65人)の減少、自己都合は1.9% (31人)の増加となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.82倍となり、前年同月を0.06ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

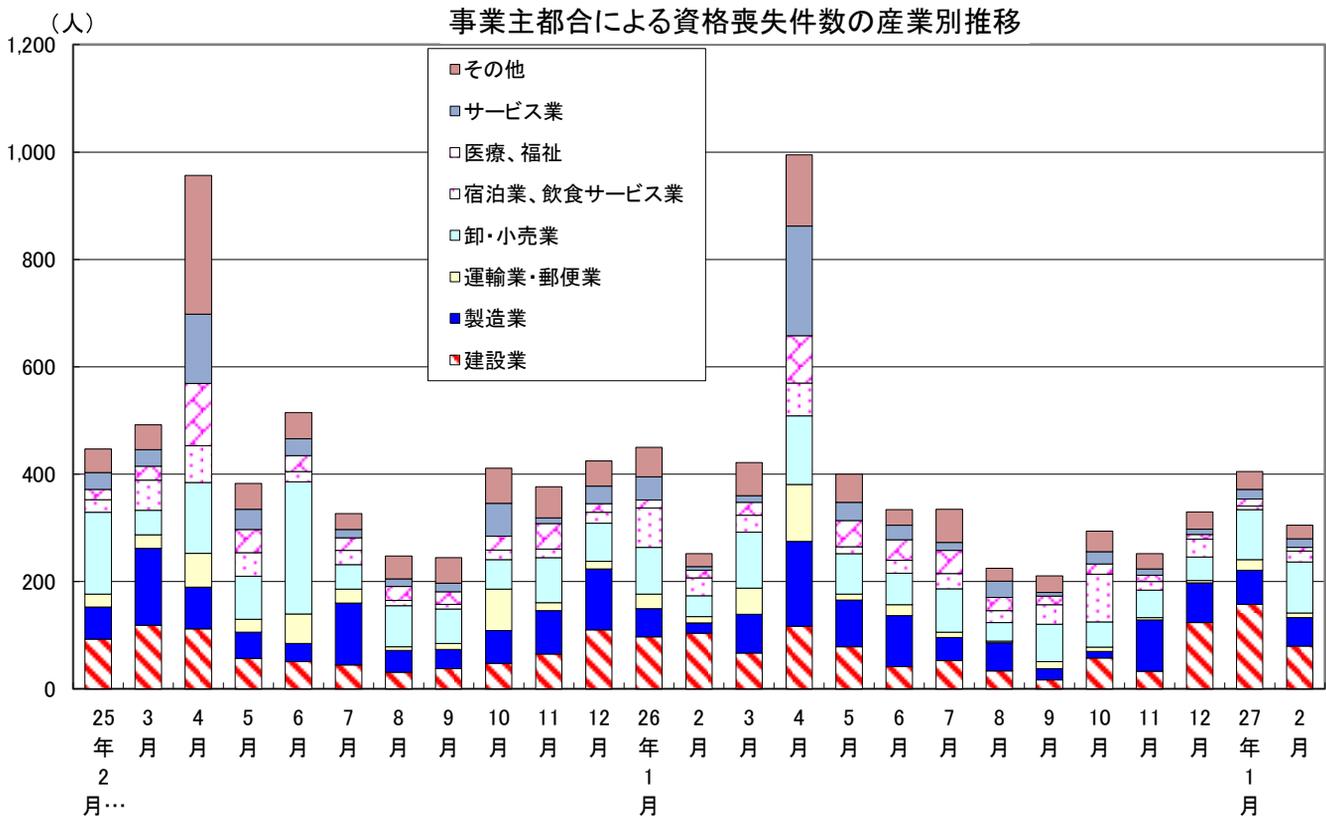
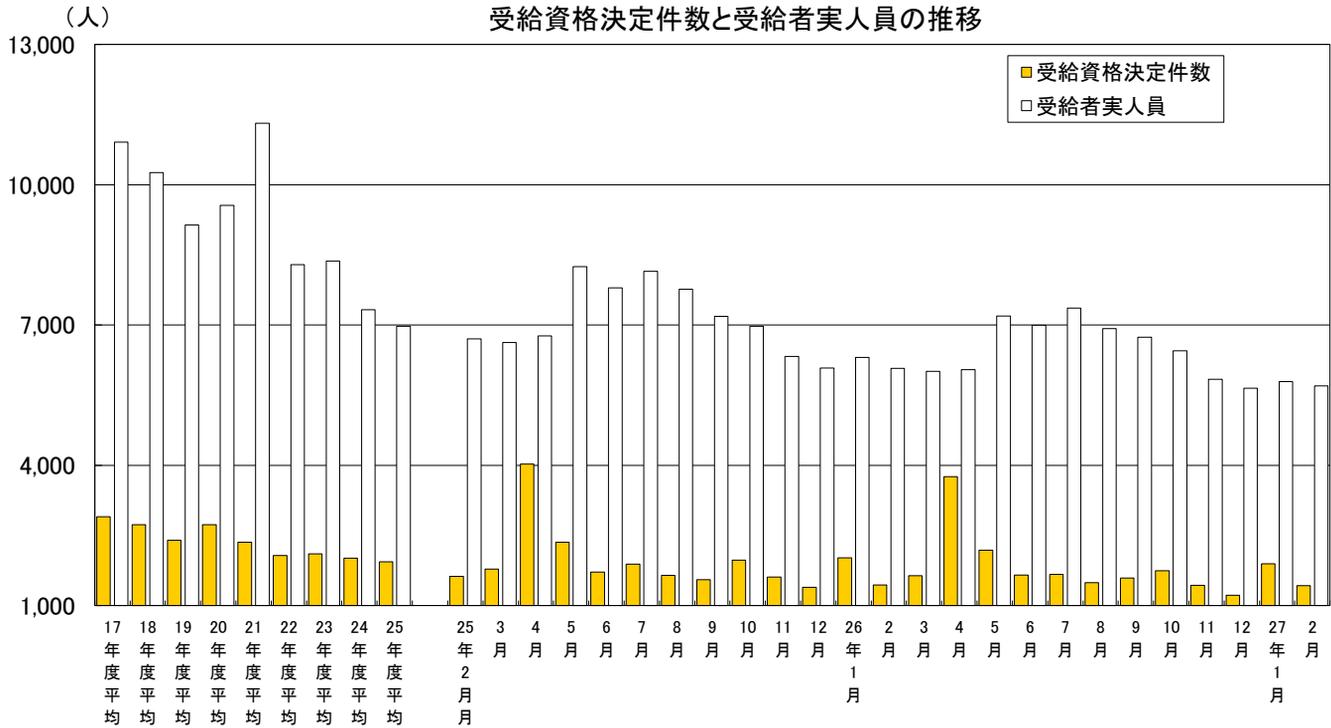


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	30,316	7,380	6,611	5,060	1,664	1,222	3,166	1,903	1,540	1,770
有効求人数	24,744	7,767	6,274	4,010	970	873	1,215	1,542	1,221	872

## V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.2%（375人）減少、前月比では1.6%（91人）減少の5,701人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.1%（16件）減少、前月比では24.9%（472件）減少の1,424件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比21.0%（53人）増加、前月比24.7%（100人）減少の305人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。